

2001年度活動（2001年4月1日～2002年3月31日）

● コレクティブオフィス事業（通年／2000年9月より実施）

非営利の市民活動を始める、あるいは既に活動を始めているがまだ起動に乗らない個人やグループに、拠点となる場所と必要な設備を提供するインキュベーター事業。2001年度は、若手ネットワーク（～2001/8）、スタジオ・カタリスト、アートバンク（～2001/10）、空飛ぶ車椅子、プロジェクト結ぶが入居。

● 地域活性化のためのパソコン教室（通年／2000年10月より実施）

コレクティブオフィス入居者と旧葺合地区の住民や商店に働く人々を対象に、パソコンやITを通じてコミュニティづくりを進める。2001年度は、延べ1,249名が受講。

● 復興住宅・コミュニティ支援研究会事務局業務（2001年4月～）

復興支援会議パートIIのメンバーが、コミュニティ支援の研究を行うために立ち上げた研究会の事務局業務。復興支援会議パートIIIより、パートナーフォーラムとして位置づけられている。

第1回会合（2001年4月4日） 18名参加。研究会開催に至る経過報告と今後の進め方について。

第2回会合（2001年5月14日） 14名参加。『社協の地域福祉活動の取り組み動向について』（小林茂氏）・『コミュニティハイツ事業とグループハウス民間整備の可能性』（池田啓一氏）・『アメリカのコミュニティ開発法人CDCの活動とそれを支える制度・コミュニティ支援』（渡辺民代氏）の報告と討議。

第3回会合（2001年6月8日） 16名参加。『復興公営住宅のコレクティブハウジング「ふれあい住宅」の居住サポートの状況』（石東直子氏）・『復興公営住宅の居住サポートの現状と課題』（黒田裕子氏）・『「高齢者の居住安定確保法」「グループリビング支援事業」「NPO FUSION長池 住宅管理支援事業と住まいづくり事業」その他2～3の解説と紹介』（石東直子氏）の報告と討議。

第4回会合（2001年7月5日） 29名参加。『高齢化が進む市営住宅の管理上の課題』（大山義郎氏）・『神戸方式のLSA業務』（重野妙実氏）の報告と討議。

第5回会合（2001年8月2日） 26名参加。『復興公営住宅の空室を活用したディサービス事業』（榎本まな氏）・『東灘復興公営住宅自治会交流会の活動紹介』（山本靖之氏）・『新長田まちづくり株式会社の居住サポート』（高原政玉氏）の報告と討議。

第6回会合（2001年9月11日） 20名参加。『大阪府の「ふれあいリビング」「グループホーム』（石東直子氏）の報告後、今まで5回の会合での情報収集をもとに意見交流会をした。

第7回会合（2001年10月4日） 17名参加、復興住宅・コミュニティ再生事業のための中間支援組織の立ち上げについて討議し、復興住宅・コミュニティ応援団を設立。モデル地区候補として、新在家南の復興公営住宅の視察を決定。

第8回会合（2001年10月24日） 13名参加。新在家南地区復興公営住宅集会所にて、「コミュニティ茶店」をオープンするための具体的事項を討議。

第9回会合（2001年12月14日） 23名参加。「コミュニティ茶店・新在家南」の事業状況の中間報告。

第10回会合（2002年1月22日） 9名参加。「コミュニティ茶店・新在家南」の今後の展開を話し合った。復興住宅・コミュニティ支援研究会は、2ヶ月に1回のペースで事例や現場の実態をもとに研究や議論をすすめる。復興住宅・コミュニティ応援団は、社会実験としての茶店を展開しながらコミュニティサポートの組織をつくっていく。

第11回会合（2002年3月26日） 14名参加。『大阪府営高槻五領住宅のふれあいリビングの事業状況』（木村節男氏、広沢真佐子氏）の報告と、再開した「コミュニティ茶店・新在家南」の報告。

● 修学旅行受け入れ業務（2001年5月～）

名古屋市立日比野中学校修学旅行を長田区へ受け入れ。中学生が震災復興の状況を目撃することと、地元の方々が修学旅行を受け入れることによって元気になる。

・ 2001年5月29日 生徒243名を受け入れ、9の受け入れプログラムを提供。

● 神戸市IT講習会（コミスタこうべ会場）業務（2001年6月～2002年3月）

神戸市の委託事業を研究所で受託し、NPO8団体が協働実施。120講座延べ約2,200名の受講者。イン

ストラクター・アシスタント約60名。教える側のスキルを維持するために、研修会開催や個別指導を実施した。

● 公開ワークショップの設営・撤去・記録作成に関する業務 (2001年6月)

神戸市の委託事業。NPOと神戸市の協働研究会第1回公開ワークショップに関わる業務。

- ・ 2001年6月26日 第1回公開ワークショップ (95名参加)

● 地域活動推進講座「神戸まちづくり塾・2001」(2001年7月)

神戸まちづくり研究所の勉強会として、生活復興県民ネットの地域活動推進講座助成金を得て開催した。7年目を迎えた震災復興まちづくりを、神戸復興塾メンバーを中心とする渦中の人々に多様な切り口で語ってもらい、参加者を含めてディスカッションした。復興10年というパースペクティブの中で見えにくくなった現状の課題と今後の地域社会の方向性を提示することをもくろんだ。

- | | | |
|--------------|-------|---------------------------------|
| 第1回 (7月12日) | 12名参加 | 「災害復興公営住宅のコミュニティ支援」 講師：石東直子氏 |
| 第2回 (8月9日) | 14名参加 | 「まちづくり協議会連絡会の今後」 講師：中島克元氏 |
| 第3回 (9月13日) | 22名参加 | 「NPOと行政・NPOと地縁組織」 講師：相川康子氏 |
| 第4回 (10月11日) | 12名参加 | 「外国人と共生するまちづくり」 講師：吉富志津代氏 |
| 第5回 (11月8日) | 15名参加 | 「地域エンパワメントとしてのまちづくり」 講師：宮西悠司氏 |
| 第6回 (11月29日) | 24名参加 | 「まとめの大討論会」 講師：中島・相川・吉富・宮西・森栗茂一氏 |

● 神戸市とNPO等の協働の基本フレーム構築にかかる調査業務 (2001年7月～2002年3月)

神戸市の委託事業。NPOと神戸市の協働研究会の事務局業務。

- ・ 2001年8月7日 第2回公開ワークショップ (42名参加)
- ・ 2001年11月20日 第3回公開フォーラム (45名参加)
- ・ 2002年2月12日 第4回公開フォーラム (37名参加)

受託期間中に、5回の世話人会を開催。

● 「市民サミット in 神戸」ワークショップ事務局業務 (2001年9月)

「Do Shiroutoまちづくり名人会」を実施する。ワークショップ再編成に対しても、研究所・神戸復興塾のメンバーが円滑に進むように協力。全ワークショップの記録冊子を参加者の協力も得て作成。

● どっちの宮本・吾妻ワークショップ (2001年10月)

神戸市住宅局地域支援課と一緒に企画制作。阪急・JRで分かれた宮本地区と吾妻地区をデジタルカメラのみで現地調査し、プロジェクターで眺めながら「まち分析」のワークショップを行った。

● 地域活動推進講座「とことん知ろう！まちづくり・2001」(2001年10月～11月)

生活復興県民ネットの地域活動推進講座助成金を得て企画開催した。住民が主体となり持続的なまちづくり活動を行っている地区を訪問し、まちづくりの担い手の講義と地区を歩くフィールドワークを行い、実地の工夫を学ぶことを目的としている。また、対象地域間の交流を深めることもねらいの一つとしている。

- | | | |
|--------------|-------|----------------------------|
| 第1回 (10月28日) | 5名参加 | 「松本地区を歩く」 講師：辻信一氏 |
| 第2回 (11月1日) | 12名参加 | 「松本地区の担い手たちに聞く」 講師：中島克元氏 |
| 第3回 (11月11日) | 21名参加 | 「住吉浜手地区を歩く」 講師：岡部龍二氏 |
| 第4回 (11月14日) | 16名参加 | 「住吉浜手地区の担い手たちに聞く」 講師：堀口裕司氏 |
| 第5回 (11月25日) | 23名参加 | 「御蔵菅原地区を歩く」 講師：竹内千恵子氏 |
| 第6回 (11月28日) | 21名参加 | 「御蔵菅原地区の担い手たちに聞く」 講師：宮定章氏 |

● 宮本吾妻地区住民意識調査事業 (2001年12月～2002年2月)

住宅局・㈱環境緑地設計研究所からの委託事業。宮本吾妻地区住民へのアンケート調査。配布・回収・集計。今後のまちづくりのためのデータ収集。

● 宮本吾妻地区建替促進事業計画作成事業 (2001年12月～2002年3月)

委託事業。宮本吾妻地区の建替事業計画を作成する。